

東播海岸の災害

台風災害のうち最も被害が大きいのが「高潮・高波」被害です。高潮は、気圧低下による海面の吸い上げと強風による吹き寄せで、海面が異常に高くなるために起きます。満潮や台風による高潮位と強風による高波浪が重なることで大きな被害につながるものが、過去の台風からわかります。

<主な災害>

生起年月日	台風名	台風のコース	神戸港潮位 神戸最大風速	災害の内訳			備考
				人災	家屋流失壊	家屋浸水	
昭和9年 9月21日	室戸 台風	徳島→神戸→びわ湖	T.P.+2.59m ESE 22m/s	死者 18人	72戸 半壊131戸	床上1,232戸 床下1,966戸	—
昭和39年 9月25日	64-20号 台風	尾道→児島半島	T.P.+2.09m SSW 26.8m/s	重軽傷者 9名	全壊30戸 半壊148戸	床上 75戸 床下211戸	主要道路が各地で寸断される
昭和40年 9月10日	65-23号 台風	播磨灘→若狭湾	T.P.+1.65m SSE 27.8m/s	—	145戸 半壊903戸	床上 346戸 床下 9戸	塩屋、狩口で国道が水没
平成16年 8月30日	台風 16号	中国地方→能登沖	T.P.+1.77m SSW 16.0m/s	—	—	—	JR山陽本線で4時間以上運行中止

昭和39年の台風20号では、T.P.+2.09mの高潮位と南南西の強風による高波浪とが重なり、東播海岸の広い範囲で越波しました。近年では、平成16年の台風16号の越波により、JRの鉄道ダイヤに大きな影響を与えました。

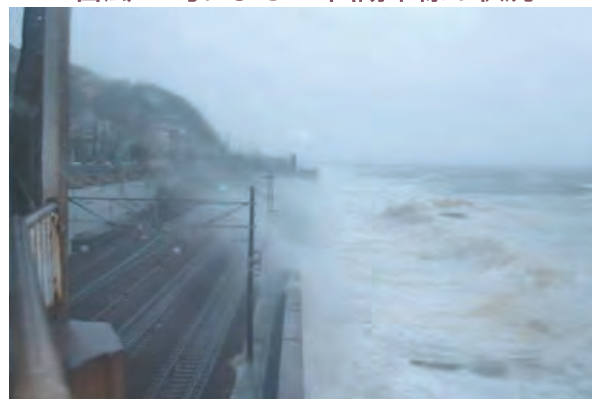


昭和39年20号台風（神戸市垂水区狩口地先）



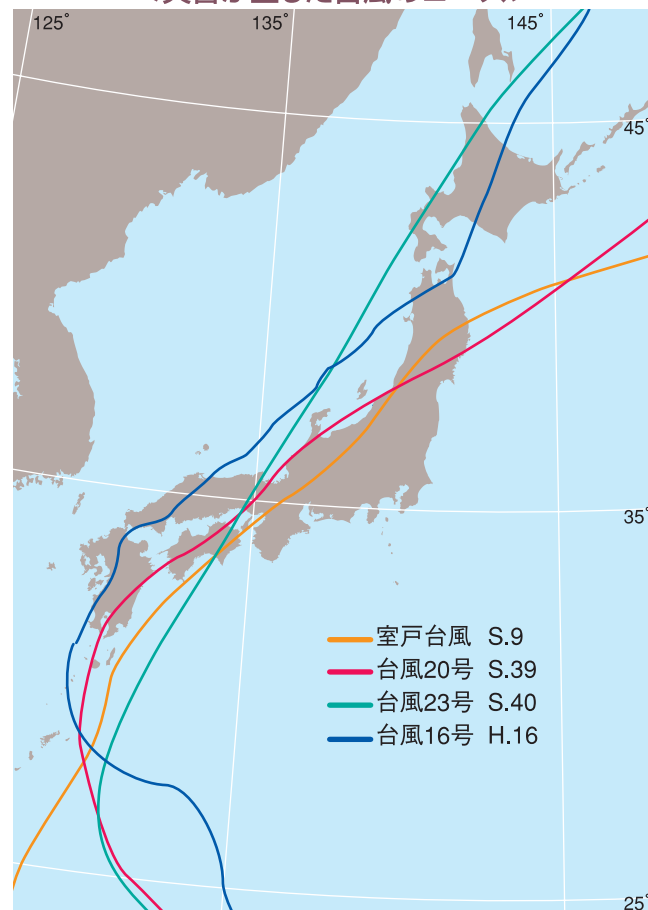
昭和39年20号台風で倒壊した電柱（神戸市垂水区狩口地先）

<台風16号によるJR山陽本線の状況>



台風の波浪によりJR山陽本線が4時間以上運行中止（神戸市垂水区塩屋地先）

<災害が生じた台風のコース>



昭和39年20号台風で崩壊した護岸（神戸市垂水区舞子地先）



昭和39年20号台風で倒壊した家屋（神戸市垂水区舞子地先）



復旧工事状況（神戸市垂水区舞子地先）



復旧工事状況（神戸市垂水区平磯地先）